

[報道資料]

2018年3月6日

山口西田読書会
電話：083-922-0753
担当：岡部

山大生による哲学の卒論発表と、
シンポジウム「饗宴」を公開で開催いたします

山口西田読書会では、その年に哲学論文で山口大学を卒業する学生に発表をお願いし、激励の質疑応答と討論を実施してまいりました。このたび、その発表会とシンポジウムを公開で実施することになりましたので、お知らせいたします。（日時、会場は別紙のとおり）

催しは2部構成で、第1部が学生の論文発表と質疑応答、第2部が佐野之人教授（哲学）をコーディネータとして「近代的自己」とは何かを会場全員で考えるシンポジウムになっております。

このたび発表するのは教育学部を卒業する学生、人文学部を卒業する学生と、中国からの留学生で大学院生の3人です。

また「近代的自己」について全員で討論するシンポジウムでは、長野県大町市で毎年開催される「原始感覚美術祭」の発起人であり美術家である杉原信幸さんにインターネット経由で登場していただき、土器に見える「縄文のころ」にも言及します。

読書会では、今後このスタイルの公開シンポジウムを恒例にしたいと思います。西田幾多郎が懸命に修禅し、思索したこの地で学生、卒業生、教員、市民の枠を超えて、テキストに即した「哲学すること」の営みが綿々と続いていることを広く知っていただくとともに、その営みを共に深めていくことによってこれからの時代を考える一つの礎になればと願っています。

* * *

【「饗宴」の由来】これまで発表に続いて全員で手料理を囲み1テーマを討論する慣例があったことから、プラトンの「シンポジオン」にちなんで「饗宴」と呼んでいます。公開のシンポジウムで料理を出す予定はありません。

【山口西田読書会】山口西田読書会は、山口市下堅小路の西田幾多郎旧宅に集まり、哲学の著作を読みながら西田に限らず「哲学者が考えようとしたこと」を自ら哲学する会です。現在、木曜日にニーチェ、土曜日に西田幾多郎の読書会を開催中。詳細は読書会のホームページをご参照ください。

山口西田読書会：<http://yamaguchi-nishida.org/>

【原始感覚美術祭】原始感覚をキーワードにジャンルを越えた表現者を招聘し、長野県大町市の木崎湖畔で滞在制作を行うことを柱とする美術祭。その地でしか生まれえない美術祭を目指す姿勢は高い評価を得ている。

<http://primitive-sense-art.nishimarukan.com/index.html#section1>

山口西田読書会 公開シンポジウム「饗宴」のご案内

2018（平成30）年3月17日（土）

大殿地域交流センター2F 講座室

開場 午後12時30分

入場無料 駐車場あり

プログラム

第1部 個人発表会（午後1時～3時10分）

発表20分、質疑応答20分

- 1 1:00-1:40 「人は死ぬのに何故生きるのか」
円福貴也（山口大学教育学部4年） [ビデオ発表]
- 2 1:45-2:25 「吉田松陰の至誠と死生」
藤原有希菜（山口大学人文学部4年）
- 3 2:30-3:10 「『善の研究』における自己の同一性
一真の自己と偽我との関係をめぐって」
唐露（山口大学大学院教育学研究科1年）

第2部 シンポジウム饗宴「近代的自己のゆくえ」（午後3時30分～4時40分）

提題1 3:30-3:40 「『近代的自己』とは何か」
佐野之人（山口大学）

提題2 3:40-3:50 「縄文土器から見えてくる『近代的自己』」
杉原信幸（長野県大町市「原始感覚美術祭」主催者）
[インターネット参加]

討論 3:50-4:40

閉会 4時40分

【お問い合わせ】

山口西田読書会 電話：083-922-0753
または「山口西田読書会」ウェブサイトの電子メール

【所在地】

大殿地域交流センター
山口県山口市大殿大路120-4

山口西田読書会
山口市下堅小路45番地
電話：083-922-0753

（以上）